



駿河台大学メディアセンター 所蔵貴重図書展

飯能市立図書館

共同企画

駿河台大学

「フリードリヒ博士 旧蔵書コレクション」から

2016年 5月28日(土)～6月23日(木)

| 会場 | 飯能市立図書館 1階 展示コーナー

駿河台大学メディアセンターが所蔵する「フリードリヒ博士旧蔵書コレクション」
から、歴史上著名な著作物をいくつか選んでご紹介いたします。



展示予定図書



1. トマス・ホッブズ著『リヴァイアサン』（1651）
2. バルーフ・デ・スピノザ著『神学政治論』（1670）
3. ジャン・カルヴァン著『ジャン・カルヴァン著作全集』（1671）
4. ジョン・ロック著『ジョン・ロック著作集』（1714）
5. マンデヴィル著『蜂の寓話、または個人の悪徳は社会の利益』（1725）
6. モンテスキュー著『法の精神』（1748）
7. モンテスキュー著『法の精神』（1749）
8. アダム・スミス著『道徳感情論』（1774）
9. トマス・ジェファソン著『アメリカ独立宣言』（1823?）
10. トマス・ホッブズ著『トマス・ホッブズ英訳著作集』（1839）

※開催期間中、入替えを行います。



「フリードリヒ博士旧蔵書コレクション」について

カール・ヨアヒム・フリードリヒ（Carl Joachim Friedrich 1901－1984）博士は、アメリカの著名な政治、行政学者で、政党と権力の解明などに多大な業績を残した政治理論家として知られています。

博士は、ドイツのライプツィヒで生まれ、マールブルク大学を卒業後、ハイデルベルク大学で学位を得たのち 1922 年にアメリカに渡り、1938 年帰化、ハーバード大学教授として行政学を講じました。

第二次大戦後、占領地統治に参画、欧米諸国の政治制度に精通し、全体主義研究に傾倒しました。殊に関係説と実体説を統合した新しい権力観を樹立し、この見地から権力分割を中核とする立憲政治を考察、民主政治との関連において官僚制、権力分立、議会政治などの諸問題を研究し、高い評価を得ています。

本コレクションには、南米、ヨーロッパの憲政史資料、法哲学、政治理論史、政治哲学、社会学、行政学などの古典、及び研究書が体系的に蒐集されており、博士の該博な知識を物語る優れた内容となっています。

